

用語集

本編では、本手引きで用いた用語について解説します。

APPLIC

財団法人全国地域情報化推進協会（The Association for Promotion of Public Local Information and Communication）の英略称。地域情報プラットフォームフォーラムの仕様検討をはじめ、地域情報化に係る種々の事業を行っている。ホームページは <http://www.applic.or.jp>。

DBMS

DataBase Management System の略。情報システムにおいてデータの蓄積・検索・集計機能などを提供するソフトウェア。

SOA

サービス指向アーキテクチャ（Service Oriented Architecture）の英略称。IT サービスや情報システムを「基本的な業務機能やシステム機能を提供するサービスの組み合わせ」として構成するための手法や技術。

オープンシステム

情報システムのうち、システムの拡張や他システムとの接続などに必要となる技術仕様（インタフェース仕様など）が公開されており、異なるベンダーや異なるシステム区分（汎用機、サーバ、PC、等）の間の相互接続や相互運用が可能となっているシステム。

ストレージ

情報システムにおいてデータやプログラムを記憶する装置。ハードディスク装置、CD-R 装置、磁気テープ装置などがこれに相当する。情報システム本体とは別の筐体にストレージ機能を搭載し、複数の情報システムで1つのストレージを共用する場合がある。

データ連携ユニット

複数の情報システム間でデータ連携を行う際に必要となるシステム機能（データの送受信、データ形式変換、データ送信失敗時の自動再送信、等）を提供する情報システム。

マスターファイル

情報システムにおいて、そのシステムが取り扱う主たるデータ（住民基本台帳システムであれば住民情報）を格納するファイル。

リプレイス

既存の情報システムを別の情報システムに置き換えること。既存の情報システムがリースで導入されている場合、リース期間終了にともなって次のシステム（次期システム）に置き換えることになる。既存の情報システム上のデータを次期システムに移行させる作業が発生する。

レガシーシステム

旧来から使われ続けている情報システムの総称。

基幹システム

企業・団体における主要業務をシステム化した情報システムの総称。地方自治体であれば住民情報システム、税システム、福祉システムなどが該当する。

共同アウトソーシング

複数の団体で1つの情報システムを共同利用すると共に、そのシステムの構築や運用を外部に委託すること。

業務ユニット

システム化の対象業務における種々の業務機能を搭載する情報システム。APPLIC が検討している地域情報プラットフォーム仕様では、業務ユニットは業務区分単位（住民基本台帳業務、印鑑登録業務、戸籍業務、等々）に導入される。

総合行政ネットワーク（LGWAN）

全国の地方自治体のコンピュータネットワークを相互接続した広域ネットワーク。LGWAN は Local Government Wide Area Network の略。都道府県、市区町村の庁内ネットワークが接続されており、中央省庁の相互接続ネットワークである霞ヶ関 WAN にも接続されている。

地域情報プラットフォーム事業

自治体の情報システムをはじめ地域内外の官民各種の情報システムを連携させるための技術仕様を検討する事業。財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）において実施されている。

統合 DB ユニット

複数の業務ユニットで利用するデータを統合管理するデータベースを搭載する情報システム。

統合型 GIS

GIS とは地理情報システム（Geographical Information System）の英略称。地図データと種々の業務データ（住民情報、固定資産情報、埋設物情報など）とを合わせて統合的に検索、表示等を行うシステム。統合型 GIS では、複数の業務で利用する地図データと種々の業務データを1つの情報システムで統合管理する。